

NIKO CAFÉ LIP



テーマ：世代間交流を推進する地域拠点（コミュニティカフェ）の企画・運営
活動地域：和歌山県海草郡紀美野町（吉見地区）
2018年度メンバー：1回生3人 2回生4人 3回生2人

にこカフェ LIPって何するの？

私たちにこカフェ LIPは、和歌山県紀美野町を起点に、学童やにこcafé等への訪問を通して小さい子供からご年配の方まで幅広い世代間交流を行います。そして認知症という誰もがなりうる症状について認知症サポーター養成講座という講座を受講学習したのち、その経験を活かして子どもたちへ認知症という症状についての学びのサポートをするとともに、子どもたちとご年配の方をイベント等を通じてつなぐような活動をしています。学童やにこcaféの定例的なイベントはもちろんのこと、夏祭りやクリスマス会といった季節の行事や今年度から始まったキノコ食堂（紀美野子ども食堂）などにも参加しています。

2018年度の活動

●認知症カフェ「にこcafé」（二回生 森彩那）



認知症カフェ「にこcafé」では、紀美野町に住むお年寄りやデイサービスに通っておられる方とお茶を飲みながらお話をします。にこcaféに来られるお年寄りの方には、少し話しただけでは認知症とはわからないような方もいれば、自分が今日どこから来たのか忘れてしまう方までいらっしゃいます。私は初めの頃は認知症の方とどう接すれば良いのかわからなかったのですが、聞き手に回りながら気負わずに自分の話したいことを伝えれば興味をもって聞いてくださるとわかりました。お年寄りの方は学生のような若い人と話す機会も少ないので普段とは違う刺激を受け、楽しそうな表情をみせてくださるなど、私たち大学生が皆さんとお話することに意味があることも教えていただきました。にこカフェの活動を通じて、地域の活性化は人との交流があってこそだと思いました。

●ふれあい昼食会（二回生 本田侑子）



にこcaféでお世話になっている「ふれあい広場紀美野」での新たな活動として、昨年の3月からふれあい昼食会を始めました。普段のにこcaféに来ている方から近くに住んでいる方で、たくさんの方がお昼ごはんを食べに来られます。私たちの主な活動は、デザート作り、盛り付け、配膳です。私は特に、いちご大福作りが思い出に残っています。みなさんに「美味しい」と言ってもらえることができ嬉しかったです。また活動後には、「ふれあい広場紀美野」の方々と私たち大学生、紀美野町社会福祉協議会の運営者の方とミーティングを行っています。ミーティングでは今回の反省点や紀美野町の近況、次回の献立を話し合います。運営者側に立ち、少しでも紀美野町の課題を改善できるお手伝いできれば嬉しいです。

●夏祭り（二回生 今清水花奈）



今年の8月ににこカフェにて保育園の子どもたちと地域の方々と夏祭りを行いました。私たち大学生が事前に用意した夏にまつわる〇×クイズや花火をモチーフとした手形工作、スーパーボールすくいをして遊び、最後は子どもたちからハンドベルの演奏と歌を披露してもらいました。遊びも演奏も全力で取り組む子どもたちの姿がとても可愛らしかったです。そして何より、そんな子どもたちの様子を見て楽しそうに見守られる地域の方々の姿が印象的でした。世代間交流を図ることを主とする本LIPの活動のやりがいを感じた1日になりました。

●認知症サポーター養成講座（二回生 今清水花奈）



ケアマネージャーの方に認知症とはどのような症状なのか、認知症の方とはどのように接したら良いのか等をパワーポイントやビデオを用いてわかりやすくレクチャーしていただきました。受講終了後には認知症サポーターの証であるオレンジリングもいただきました。私自身2回目の受講ではありましたが、ケアマネージャーの方にレクチャーしていただいたのは今回が初めてだったため、貴重な体験になりました。受講ビデオの中に町ぐるみで認知症の方の生活を見守るという内容のものがあ、認知症の方々が当たり前前の日常生活を当たり前のように過ごすことができるということがいかに大切であるかを実感しました。

●学童（二回生 上野碧 & 一回生 杉本梓）



学童の活動では紀美野町にある野上小学校の学童保育に参加します。主に屋内で宿題をしたり、なぞなぞや折り紙、工作などをして一緒に遊びます。一方屋外では鬼ごっこやボール遊びをします。子どもたちは皆元気いっぱい、大学生の私たちがへとへとになってしまうくらいです。そのような遊びの中でも子どもたちに「認知症とはなにか」というプレゼンを行い、クイズやゲームを通して認知症について知ってもらうという取り組みも行っています。何事にも全力で取り組み、いつも可愛い笑顔で私たちを迎えてくれる子どもたちとの活動はとても充実しています。

●キノコ食堂（一回生 服部希歌）



こども食堂がリニューアルし、「き」み「の」「こ」ども食堂から名前を取ったキノコ食堂は毎月第2金曜日に紀美野町で開かれ、地域の方から頂いた食材を中心に使った晩御飯を提供しています。私たちは配膳のお手伝いやレクリエーションの企画といった形で参加しています。紀美野町の子どもたちやそのお母さんやお父さん、近所のお年寄りの方などがたくさん集まり、世代間交流の場として、またお母さん同士の情報交換の場として機能していました。高校生のボランティアも多く、お互いに良い刺激となりました。12月に企画したクリスマスツリーづくりでは晩御飯を食べ終わった子どもたちがたくさん参加してくれ、「持って帰れる思い出」として喜んでくれるお母さん方も多く、やりがいを感じました。



キノコ食堂

キノコ食堂

キノコ食堂